

文部科学大臣 殿

〔設置者の名称〕 学校法人 徳島城南学園

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 近藤孝造

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	徳島工業短期大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・ <u>短期</u> 大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	徳島県板野郡板野町犬伏字蓮花谷 100 番地
学長又は校長の氏名	学長 宮城勢治
設置者の名称	学校法人 徳島城南学園
設置者の主たる事務所の所在地	徳島県板野郡板野町犬伏字蓮花谷 100 番地
設置者の代表者の氏名	理事長 近藤孝造
申請書を公表する予定のホームページアドレス	http://www.tokuco.ac.jp/

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局 筒井晃治	088-672-2311	k.tsutsui@tokuco.ac.jp
第2号の1	自動車工業学科 岩瀬一裕	088-672-2311	k.iwase@tokuco.ac.jp
第2号の2	事務局 筒井晃治	088-672-2311	k.tsutsui@tokuco.ac.jp
第2号の3	自動車工業学科 岩瀬一裕	088-672-2311	k.iwase@tokuco.ac.jp
第2号の4	事務局 筒井晃治	088-672-2311	k.tsutsui@tokuco.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	徳島工業短期大学
設置者名	学校法人 徳島城南学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	249,644,799円	316,996,980円	△67,352,181円
申請2年度前の決算	252,315,546円	321,059,291円	△68,743,745円
申請3年度前の決算	244,571,711円	319,198,929円	△74,627,218円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	2,667,573,306円	4,515,543円	2,663,057,763円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	160人	110人	68.7%
前年度	160人	118人	73.7%
前々年度	160人	125人	78.1%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算 における金額
特定資産	退職給与引当特定資産	12,702,061円
特定資産	第2号基本金引当特定資産 本館建替工事引当特定資産	1,045,432,460円
特定資産	第2号基本金引当特定資産 実験実習場建替工事引当特定資産	430,468,355円
特定資産	南海トラフ巨大地震対策引当特定資産	220,145,050円
その他の固定資産	有価証券	270,133,790円
流動資産	現金預金	488,691,590円
流動資産	有価証券	200,000,000円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
流動負債	未払金	4,515,543円

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	徳島工業短期大学
設置者名	学校法人徳島城南学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	自動車工業学科	夜・通信			35	35	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 2. 事業の概要(2)教育研究の概要 3 実務経験のある教員等による授業科目及び単位数
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	徳島工業短期大学
設置者名	学校法人徳島城南学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 1. 学校法人の概要 (4)役員及び教職員に関する情報 ②学内者である理事の一覧表 ③学外者である理事の一覧表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	NPO 法人代表	2018. 4. 1 ~ 2022. 3. 31	学監
非常勤	前一般社団法人専務理事	2020. 6. 1 ~ 2024. 5. 31	経営管理全般
非常勤	株式会社代表取締役	2017. 12. 15 ~ 2021. 12. 14	経営管理全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	徳島工業短期大学
設置者名	学校法人徳島城南学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)は、記載すべき項目を教務課にて精査し、書類としてフォーマット化したものを全授業担当者に対し、学内 LAN 上に所定のフォルダを設置して、期限を設定して提出してもらうこととしている。その際に、学内 LAN にアクセスできない非常勤講師に対しては、教務課より USB メモリなど適切な媒体を用いてシラバスデータを取得している。シラバス作成にあたって特に注意すべき項目については、具体的な注意点を記載したひな型を準備しており、全教員がそれを参考にして記載すべき項目に漏れがないようにしている。</p> <p>提出をうけたシラバスは、教務課及び ALO が目を通したのち、学長の確認を受けてから製本作業に回される。シラバスは、新入学生のオリエンテーション時に配布され、シラバスの概要についてもオリエンテーション内で説明を行っている。</p> <p>シラバスの公表は、本学のホームページの中の「大学紹介」のページの中の「2 事業の概要」の「(2) 教育研究の概要」の項目内に PDF 資料としてだれでも自由にダウンロードできるようにして公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>大学ホームページ</p> <p>http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 2.事業の概要 (2)教育研究の概要 2シラバス</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の評価方法の詳細は、教科のシラバスに明記しているが、座学及び実習・実験のすべての教科において、学修意欲の把握などを主な目的としたルーブリック評価と、直接的な知識や技術の習得度合いを評価する試験やレポートなどのものに分けて行っている。</p> <p>ルーブリック評価は、総合評価の20～40%分とし、残りを試験やレポートなどで評価することとしており、ルーブリック評価の評価比率は当該教科の特性により教科担当者が設定することとしている。また、ルーブリック評価の評価項目は、共通（必須）項目に加え、教科の特性を考慮して教科担当者が独自の項目を加えることができるようにしてある。</p> <p>平成30年度より、点票作成の効率向上も加味した新しい帳票データを導入し、ルーブリック評価の評価分布図も自動で作成できるようにしたため、より一層学生の評価・指導が行いやすくなったものと考えている。</p> <p>期末試験終了時点で、総合評価が不合格の学生が出た場合は、2時間の補習を義務付けたうえで再試験を実施している。2時間の補習の受講態度及び再試験の結果を総合的に判断して60点以上の成績を取めた場合は総合評価を「可」として単位を認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学は開学以来、伝統的に優良可の三段階での総合評価を行っている。したがって平均的な値である「良」すなわちGPA値2.0以上の学修成果を期待しており、前期末終了時点でのGPAが2.0未満の学生に対しては、担任によるヒアリングを実施し後期における生活指導に資するとともに、1年次終了時点でのGPAが2.0未満の学生に対しては、2年次への進級判定にあたって教授会での個別審議を行うこととしている。</p> <p>上記はGPA評価規定として学生便覧に掲載するとともに、本学ホームページの中の「大学紹介」のページの中の「2事業の概要」の「(2)教育研究の概要」の項目内で公表しているシラバス(PDF資料)内に、その内容を要約した形で公表している。</p> <p>なお、卒業判定にあたっては、卒業要件を満たしたものに卒業を認めるという立場から、卒業判定にはGPAの値を用いることはしない。</p> <p>学修成績の分布状況については、新年度当初の時期に、学生データベースの成績データをもとに、前年度分の全教科の成績分布一覧表を作成している。特に際立った成績分布を示す教科があった場合は、学長が年2回実施している教員に対するヒアリングなどの機会をとらえて、担当教員と内容の確認などを行っている。</p> <p>なお、GPAは次により算出する。優（総合評価90点以上）を4.0、優（総合評価80点以上90点未満）を3.0、良（総合評価65点以上80点未満）を2.0、可（総合評価60点以上65点未満）を1.0及び不可（総合評価60点未満）を0として評価点を与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、登録科目の総単位数で除して算出する。なお、合格、不合格及び認定は、GPAの対象外とする。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 2.事業の概要 (2)教育研究の概要 2シラバス</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関しては、学位授与の方針（ディプロマポリシー）として策定し、本学ホームページの「大学紹介」の中の「3つのポリシー」として、アドミッションポリシー並びにカリキュラムポリシーと共に公表している。なお、具体的な卒業の認定に対しては、本学学則第31条に明確に規定し厳格に運用している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/policy.php</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	徳島工業短期大学
設置者名	学校法人徳島城南学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 3. 財務の概要(3) 計算書類④貸借対照表
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 3. 財務の概要(3) 計算書類①～③
財産目録	大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 3. 財務の概要(1) 財産目録
事業報告書	大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 3. 財務の概要(5) 事業報告書
監事による監査報告(書)	大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 3. 財務の概要(4) 監査報告書

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/result.php
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 自動車工業学科
教育研究上の目的（公表方法： http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/daigaku.php ） （概要）建学の精神・教育理念を土台として、自動車工業に関する専門知識を身に付けた人材を育成することを目的とする。自動車整備士資格の取得を目指すことはもとより、国際化する社会への理解を深めさせ、価値観の多様化した学生に、社会人として必要な能力を育成することを旨とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/policy.php ） （概要）国土交通省の定める必修科目及び本学の建学の精神である「人づくり」を実現するための諸科目や自動車工学の基礎となる科目を合わせ履修し、卒業要件単位数を習得した者に学位を与える。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/policy.php ） （概要）高度化・複雑化する自動車技術の進展に対応できる専門知識と幅広い教養を有する人材を育成し、国家資格「二級自動車整備士・一級自動車整備士・車体整備士」の資格取得を目標とすると共に、多方面の分野にも進出できるようカリキュラム（教育課程）を編成する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/policy.php ） （概要）本学は、「人づくり」を建学の精神に掲げ、「品性の向上を図り、自発的に社会に貢献できる人間性を養い、技術革新が著しい自動車産業界になくてはならない人材をいくせいする」ことを教育理念として教育活動を行っています。 そこで、本学の建学の精神・教育の理念を理解し、学習意欲を有した、次のような目的を持つ学生に入学して欲しいと考えています。 1 自動車整備士資格の取得を目指したい人 2 身に付けた知識・技術を基に、自ら課題を解決したいと考える人 3 主体性を持ち、多様な人とコミュニケーションを図りたいと考える人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 2、事業の概要 (2) 教育研究の概要 ①教育研究上の基本となる組織に関する情報
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
	—	2人	4人	11人	0人	0人	17人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		17人					19人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 2. 事業の概要 (2)教育研究の概要 ②教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
自動車工業学科	80人	60人	75.0%	160人	110人	68.7%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	80人	60人	75.0%	160人	110人	68.7%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
自動車工業学科	64人 (100%)	4人 (6%)	53人 (83%)	7人 (11%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	64人 (100%)	4人 (6%)	53人 (83%)	7人 (11%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業計画（シラバス）は、記載すべき項目を教務課にて精査し、書類としてフォーマット化したものを全授業担当者に対し、学内 LAN 上に所定のフォルダを設置して、期限を設定して提出してもらうこととしている。その際に、学内 LAN にアクセスできない非常勤講師に対しては、教務課より USB メモリなど適切な媒体を用いてシラバスデータを取得している。シラバス作成にあたって特に注意すべき項目については、具体的な注意点を記載したひな型を準備しており、全教員がそれを参考にして記載すべき項目に漏れないようにしている。

提出をうけたシラバスは、教務課及び ALO が目を通したのち、学長の確認を受けてから製本作業に回される。シラバスは、新入学生のオリエンテーション時に配布され、シラバスの概要についてもオリエンテーション内で説明を行っている。

シラバスの公表は、本学のホームページの中の「大学紹介」のページの中の「2 事業の概要」の「(2) 教育研究の概要」の項目内に PDF 資料としてだれでも自由にダウンロードできるようにして公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学修成果の評価方法の詳細は、教科のシラバスに明記しているが、座学及び実習・実験のすべての教科において、学修意欲の把握などを主な目的としたルーブリック評価と、直接的な知識や技術の習得度合いを評価する試験やレポートなどのものに分けて行っている。ルーブリック評価は、総合評価の 20～40%分とし、残りを試験やレポートなどで評価することとしており、ルーブリック評価の評価比率は当該教科の特性により教科担当者が設定することとしている。また、ルーブリック評価の評価項目は、共通（必須）項目に加え、教科の特性を考慮して教科担当者が独自の項目を加えることができるようにしてある。

平成 30 年度より、点票作成の効率向上も加味した新しい帳票データを導入し、ルーブリック評価の評価分布図も自動で作成できるようにしたため、より一層学生の評価・指導が行いやすくなったものと考えている。

期末試験終了時点で、総合評価が不合格の学生が出た場合は、2 時間の補習を義務付けたうえで再試験を実施している。2 時間の補習の受講態度及び再試験の結果を総合的に判断して 60 点以上の成績を収めた場合は総合評価を「可」として単位を認定している。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学は開学以来、伝統的に優良可の三段階での総合評価を行っている。したがって平均的

な値である「良」すなわち GPA 値 2.0 以上の学修成果を期待しており、前期末終了時点での GPA が 2.0 未満の学生に対しては、担任によるヒアリングを実施し後期における生活指導に資するとともに、1 年次終了時点での GPA が 2.0 未満の学生に対しては、2 年次への進級判定にあたって教授会での個別審議を行うこととしている。上記は GPA 評価規定として学生便覧に掲載するとともに、本学ホームページの中の「大学紹介」のページの中の「2 事業の概要」の「(2) 教育研究の概要」の項目内で公表しているシラバス (PDF 資料) 内に、その内容を要約した形で公表している。

なお、卒業判定にあたっては、卒業要件を満たしたものに卒業を認めるという立場から、卒業判定には GPA の値を用いることはしない。

学修成績の分布状況については、新年度当初の時期に、学生データベースの成績データをもとに、前年度分の全教科の成績分布一覧表を作成している。特に際立った成績分布を示す教科があった場合は、学長が年 2 回実施している教員に対するヒアリングなどの機会をとらえて、担当教員と内容の確認などを行っている。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定に関しては、学位授与の方針 (ディプロマポリシー) として策定し、本学ホームページの「大学紹介」の中の「3 つのポリシー」として、アドミッションポリシー並びにカリキュラムポリシーと共に公表している。なお、具体的な卒業の認定に対しては、本学学則第 31 条に明確に規定し厳格に運用している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	自動車工業学科	62 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPA の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : 大学ホームページ <http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php> 2. 事業の概要 (2) 教育研究の概要 ⑥学習環境に関する情報

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	自動車工業学科1年	840,000円	250,000円	410,000円	
	自動車工業学科2年	880,000円	－円	350,000円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 担任制を敷いており、担任は、教務課が集約するデータをもとに、教務課と連携して学生個々の学修状況を把握し、スムーズな学修成果の獲得につなげるべくサポートしている。数学や物理について基礎学力不足の学生に対しては小人数指導を実施し、学力別の個別指導も実施している。奨学制度についてはいろいろな条件下の学生に対応できるよう独自の奨学制度・学費減免制度を有している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 進路支援室を設け、キャリア支援のための授業や企業研究会を開催するなど、担当者が学生に指導・情報提供している。また担任制を敷いているので、担任は、進路支援室と連携し、担当学生との定期的な個人面談により進路希望を聴取し、そのスムーズな実現をサポートしている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 毎月の会議で学生個々の状況の情報共有に努め、一貫した指導ができるよう努めている。また担任制を敷いているので、担任は、学生課、入試広報課等と連携を取り、担当学生の心身の健康状態についての情報を収集し、出欠状況や授業態度から問題を抱えていないかどうかを看視し、問題を芽の段階で早期解決できるようサポートしている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法: 大学ホームページ http://www.tokuco.ac.jp/daigaku/book.php 2. 事業の概要 (4)教育力向上の取組の概要及び 4. 研究
--